



ロータリー青少年  
指導者養成プログラム  
ROTARY  
YOUTH LEADERSHIP  
AWARDS

分かち合うために  
日本の心と  
文化を学ぼう。

'08  
Spring

RYLA

ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARDS

## 2008年春のライラ報告書



2008年5月3日(土祝)・4日(日祝)・5日(月祝)

勝尾寺 宿坊 応頂閣

主催：国際ロータリー第2660地区青少年活動委員会    ホストクラブ：大阪中之島ロータリークラブ



【'08春のライラテーマ】

分かち合うために、  
日本の心と文化を学ぼう。

ロータリー青少年指導者養成プログラム  
ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARDS

'08  
Spring RYLA

INDEX

来賓・役員	2
RYLAプログラム	3
開講式	4
・式次第	4
・開会宣言	5
・歓迎の挨拶	6
・来賓紹介と挨拶	7
・来賓挨拶	8
基調講演	10
フォト・レポート&班・部屋割表	12
卓話「再発見 日本の文化と美」	18
グループ討論会 成果発表	20
閉講式	24
・式次第	24
・挨拶と修了証書授与	25
・講評	26
・RYLA旗の引継ぎ/ローターアクト地区代表挨拶	28
・閉会の辞	29
クラブ別登録一覧表	30
収支決算報告書	31
大阪中之島ロータリークラブ会員担当分担表	32
後記	

## ■ 来賓・役員

### • RI第2660地区

ガバナー ..... 新谷 秀一(池田くれは)

ガバナーエレクト ..... 横山 守雄(大阪中央)

### • ローターアクト委員会

委員長 ..... 辻本 一義(東大阪)

### • 青少年活動委員会

委員長 ..... 西上 博幸(吹田江坂)

副委員長 ..... 土井 靖士(大阪うつぼ)

副委員長 ..... 金馬 隆仁(吹田江坂)

委員 ..... 井上 嗣仁(大阪中央)

委員 ..... 水崎 勝(寝屋川)

委員 ..... 谷間 庸子(大阪そねざき)

委員 ..... 杉本 昌煥(大阪北梅田)

委員 ..... 岸上 宏司(池田)

委員 ..... 上野 晃裕(大阪梅田東)

委員 ..... 岡本 啓吾(大阪中之島)

委員 ..... 吉中 春美(大阪南西)

委員 ..... 小川 泰彦(大阪梅田)

委員 ..... 荒石 義一郎(大阪咲州)

委員 ..... 陶 柳之介(箕面)

委員 ..... 中村 一(大阪船場)

委員 ..... 新庄 幸一(枚方)

委員 ..... 泉 博朗(大阪住吉)

委員 ..... 餅野 法善(大阪なにわ)

# RYLAプログラム

第1日目(5月3日)		第2日目(5月4日)		第3日目(5月5日)	
		6:00	起床	6:00	起床
		6:30	坐禅(大広間) 朝の集い(広場)	6:30	坐禅(大広間) 朝の集い(広場)
		8:00	朝食(北館1F)	8:00	朝食(北館1F)
		9:00	写経(南館2F大広間)	9:00	卓話(本庄 巖氏) 「再発見 日本の文化と美」
		10:00	グループ講座	9:30	グループ討論会
				11:00	部屋の清掃、点検
12:00	集合・受付 「A&H」ホール	12:00	昼食(北館1F)	12:00	昼食(北館1F)
13:00	開講式 ガバナー・来賓挨拶	13:00	グループ講座	13:00	閉講式 グループ別結果発表 ライラ旗の引継ぎ
14:00	基調講演(泉 紀世史) 「万人を活かす日本の文化」				
15:30	「A&H」ホール出発 バスで勝尾寺へ	15:00	【府青少年活動財団担当】 グループ講座の成果発表	15:00	千里中央駅へ移動 到着後、解散
16:30	勝尾寺到着 入室・更衣 オリエンテーション (南館2F大広間)	16:30	グループタイム 夜の準備		
17:15	【府青少年活動財団担当】 人間関係作りのアクティビティ 「ハート(HRT)アクティビティ」 (Human Relation Training)	18:00	夕食(北館1F)		
18:45	夕食準備・夕食	19:00	【府青少年活動財団担当】 パフォーマンスナイト (キャンプファイア)		
		20:00	後片付け		
20:45	【府青少年活動財団担当】 翌日のインフォメーション (禅の説明等)	20:30	班長会議 グループタイム		
21:00	班長会議・入浴等				
22:30	消灯	22:30	消灯		

## ■ 開講式

### 開 講 式 式 次 第

---

会場:千里朝日阪急ビル  
司会:吉井 宏

- 開会点鐘 ..... 大阪中之島ロータリークラブ会長 泉 紀世史
- 国歌斉唱「君が代」 ..... 独唱 帯刀 享子
- ロータリーソング「奉仕の理想」 ..... ソングリーダー 志水 慶一
- 開会宣言 ..... 大阪中之島ロータリークラブRYLA実行委員長 福田 忠博
- 歓迎の挨拶 ..... 大阪中之島ロータリークラブ会長 泉 紀世史
- 来賓紹介と挨拶 ..... RI第2660地区青少年活動委員会委員長 西上 博幸
- 挨拶 ..... RI第2660地区ガバナー 新谷 秀一
- 挨拶 ..... RI第2660地区ローターアクト委員会委員長 辻本 一義
- 閉会点鐘 ..... 大阪中之島ロータリークラブ会長 泉 紀世史

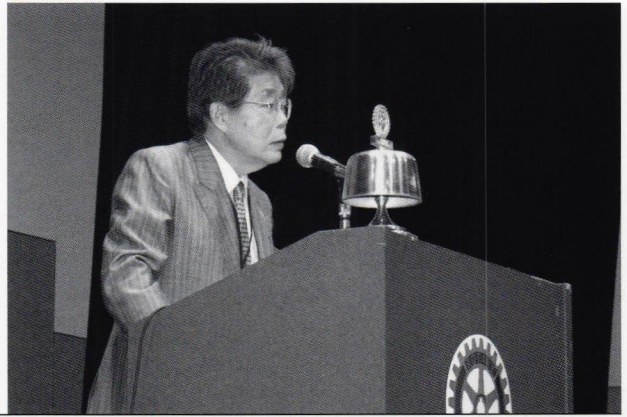
#### ロータリーソング『奉仕の理想』

---

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和 めぐる歯車いや輝きて  
永久に榮えよ 我等のロータリー ロータリー

## 開 会 宣 言

大阪中之島ロータリークラブRYLA実行委員長  
福田 忠博



本日は我が国では一番季候も良く、さらに長い休日の続くゴールデンウィークの真只中にあり、ご出席の皆様には他にも色々な心積もりがあったにもかかわらず、地区の青少年活動の一環である春のライラに多数の青少年と多くのロータリアンのご参加をいただき、誠にありがとうございます。

本年度の春のライラのテーマは「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう」ということで、日本の心と文化を代表する芸能、武道を体験して頂き、そこから日常生活や活動に有用なものを得られるように青少年と我々ロータリアンと一緒に学習したいと思っています。

春のライラ開催に当って、本日、ご来賓を頂いています2660地区新谷ガバナーをはじめ、地区青少年活動委員会の西上委員長、地区ローターアクト委員会の辻本委員長のご指導と御助言、更に、非常に多くのロータリアンのご協力があった事を皆様にお知らせしておきます。

では、2008年、春のライラの開会を宣言いたします。

## 歓迎の挨拶

大阪中之島ロータリークラブ会長  
泉 紀世史



皆様こんにちは。2008年春のライラに参加して頂き有難うございます。

テーマは“分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう。”であります。例年は、大阪府の海洋センターで春のライラは開催されておりますが、テーマが先程申し上げました“分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう。”でありますので、これにふさわしい此処勝尾寺で開催する事になりました。我々スタッフ一同も、皆様方の人生の中でこのライラに参加する事により、大きな想出となる様に張り切っております。一緒に楽しんで活動しましょう。

あとになり申し訳有りませんが、本日この開講式にご出席頂きました新谷秀一ガバナー、地区青少年活動委員長の上博幸様、RI2660地区ローターアクト委員会委員長の辻本一義様をはじめとする活動委員の皆様のご支援によりまして、この日を迎える事が出来ました。厚く御礼申し上げます。

私は後程皆様にお話をさせていただきますので、これで歓迎の挨拶とさせていただきます。皆さん、楽しい楽しい3日間を過ごして下さい。

有難うございました。



## 来賓紹介と挨拶

R.I.第2660地区青少年活動委員会委員長  
西上 博幸



今日は、春のライラに496名のご登録及び75名の青少年のご参加いただきありがとうございます。

このRYLAという言葉は、聴きなれない言葉と思いますが、Rotary Youth Leadership Awards、の頭文字をとってRYLAと呼んでいます。日本では、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と訳されており、ロータリーが行っているさまざまなボランティア活動の中で、1971年に国際ロータリー理事会で採択された、青少年活動プログラムのひとつです。

ロータリーは、世界200以上の国と地域に約120万人の会員を有する集まりで、世界平和のために奉仕活動を行っている団体です。このライラもそのひとつの奉仕活動でございます。

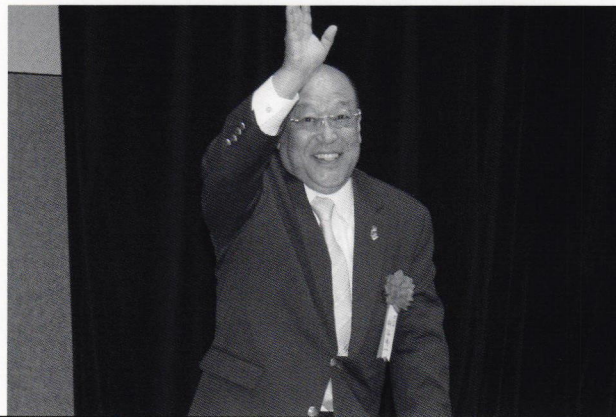
さて、今回の春のライラは、「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう」のテーマで実施いたします。分かち合うというのは、素晴らしいですね。しかし、自分に必要でないものを人にあげるといっているのではないのです。ロータリーでの分かち合いとは、あなた自身を、惜しげなく、ひとにとって役立つことのために捧げるという意味でございます。ほとんどの人は、ひとに尽くしてもらい喜びは味わって居られますが、どうぞ尽くす喜びが味わえる人になっていただきたいと思っております。この研修は、リーダーとして必要な人間関

係向上を計ることを目的とした体験型セミナーでございます。このライラで一回り大きく成長され、分かち合える心を構築して頂きたいと思っております。留学生の方も31名参加されています。国際交流、文化交流を通じて、どうぞ楽しく、友好を持って三日間を過ごしていただき、最終日皆様が何を、どのように体験され、学ばれたか発表されることを、楽しみに、期待いたしております。

それでは、私たちの仲間をご紹介します。世界各国とその国の中をさらに区分して地区と呼んでおります。日本は34の地区に分かれており、私たちは、国際ロータリー第2660地区に所属しております。この地区は、大阪府下でも大和川以北に86のロータリークラブがございます。そのクラブ全体をまとめている方を、ガバナーと呼んでいます。一番偉い人です。新谷秀一ガバナーです。お隣は、18歳から30歳の青少年グループで奉仕活動をしていただいている組織を支援・指導していただいております、ローターアクト委員長の辻本一義様です。続きまして、研修期間中皆様のお世話をさせていただくチームライラのメンバーをご紹介します。最後に私どもの青少年活動委員会のメンバーをご紹介します。

## 来賓挨拶

R.I.第2660地区ガバナー  
新谷 秀一



みなさん、こんにちは。

本日は、「春のRYLA」にご参加いただきありがとうございます。ありがとうございます。

ロータリーのRYLAは、1971年に青少年指導者育成を目的として、国際ロータリーで正式に採択されたプログラムです。RYLAプログラムは、若い人々に指導力養成セミナーを提供し、参加者が年齢に応じた専門知識や指導力を養うことを目的としています。

そして、参加者はこれからの時代を担う青少年の指導者として、地域社会のために奉仕できる人材になってもらうことを期待しています。

今年度は「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう」をテーマに2泊3日のプログラムが予定されています。このあとに行われる基調講演では、今年度の大阪中之島RCの会長でもある、柳生新陰流 和泉派 師範の泉 紀世史様に「万人を活かす日本の文化」と題してご講演いただきます。柳生新陰流は、約400年の歴史がある日本を代表する剣術と兵法の流派で、今もその精神と技が引き継がれています。

講演終了後は、勝ち運信仰で名高い、歴史ある勝尾寺に場所を移して、2日目、3日目と座禅や写経に挑戦し、箏・尺八・茶道・武道など幅広く日本の心と文化について学習してもらう企画となっています。そ

の事と同時に参加者の皆様には、短い時間ではありますが多くの友人を作り、また友情をより一層深め、有意義に過ごしていただきたいと願っております。

今回のRYLAで勝尾寺のダルマの様に七転び八起きできるように心を鍛え、みなさんの中からローターアクトクラブで活躍され、また、将来はロータリアンとなり、優秀なリーダーが誕生することを期待いたします。最後になりましたが、今回ホストクラブを務めていただいた大阪中之島RCの皆様並びに青少年活動委員会の皆様大変ご苦勞様でございます。心より感謝申し上げます。

どうぞこの「春のRYLA」が皆さんの良い思い出になることをお祈りして結びといたします。

## 来賓挨拶

R.I.第2660地区ローターアクト委員会委員長  
辻本 一義



例年行われている春のライラが大阪中之島ロータークラブのホストで立派に開催され、当地区のローターアクト委員会としても大変嬉しく存じます。ホストクラブの皆様始め地区青少年活動委員会の皆様、本当にご苦労様でした。

特に今回は勝尾寺における、朝の座禅、写経をメインに、バーベキューやキャンプファイヤーといった斬新にして日本の古来からの人間磨きのプログラムを多く取り入れた内容に非常に興味をそそるものがあると感じております。

この2泊3日のプログラムは、18歳から30歳までの参加者にとって貴重な多くの経験を積むことができ、参加者の今後の人生にあって忘れることのできない人格形成の土台になるものだったでしょう。

私達のローターアクト委員会にあっても、18歳から30歳のまでの青年男女が、将来の日本を背負って立つための人格形成に役立つための多くのプログラムを実施し、多くの成果をあげていると自負しております。

人材育成は、根気のいる作業であると共に多くの費用も労力も必要です。しかし当地区ロータリーにあっては、常にこのテーマに積極的に取り組んでいるのであり、今年もこの道のりを立派に進み続け

ることができております。

ローターアクトは、現在、当地区内にあって21クラブが存在し、各クラブは独自に毎月2回の例会を行ってメンバーが研鑽すると共に、クリーンキャンペーン、弱者への支援活動、国際親善などの奉仕活動を行い、さらに全クラブが参加する地区組織でも、海外研修や数多くの事業を実施しております。

従って、ライラとローターアクトの活動内容には大きな違いがありますが、多くの青年男女の成長に貢献できる機会を与える点においては共通点があります。参加者には今回のライラへの参加を通じて、ロータリーの理解が深まったと存じます。参加者がロータリーを理解され、またローターアクトの関係者とも接触できたことを通じて、今後、ローターアクトへの参加者が沢山でて来ることも期待しております。

参加者の今後のご活躍、社会への貢献が沢山あることを期待しております。

## ■ 基調講演

# 万人を活かす 日本の文化



講師：  
大阪中之島ロータリークラブ会長  
泉 紀世史

皆様こんにちは。今日から皆様と一緒に三日間勉強する事になります。テーマは「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう。」です。まず日本の「心」を学とはどんな事でしょう「心」は手に出してこれだと言う事が出来ません。また何処にあるかもよくわかりません。明日から始まる分科会では、茶道、剣道、箏、空手道、合気道、尺八、書道、琵琶、詩吟、座禅が行われます。これ等を皆様が少しでも多く体験されて、日本には昔からそんな物があったんだなあ、と思うだけでも素晴らしい事だと思います。昔から日本では“よく遊びよく学べ”とか“文武両道”とか言って、幼い頃から知的にも精神的、肉体的にもバランスのとれた人物になるべく、練磨し他からも訓練されて来ました。私の高校時代と言えは約50年前になりますが、その頃野球部の主将でピッチャーで4番打者、そして成績はいつもトップクラスの人がいました。その人は常に野球の練習をしていたので、いつ勉強しているのかなあと考えた事がしばしばありました。現在も此の様な人は居られますが、昔に比べると少なくなった様な気がします。時代とともに当然何事も変化して行きますし、又それが良いのですが、突然の異変や、他との比較をしてそれに依って生じた矛盾や悩みに対して上手に対処して行くには、練磨や訓練によって培

われた臨機応変な智恵と考え方が役に立つと思うのです。読んだり見たり、聞いたり勉強をして知識を積むのは大変重要な事ですが、これだけでは何か物足りない気がします。この獲得した知識を真に役立てて行くには、この上に何か直接的体験的な事を積む事が必要だと思うのです。個人に生じた困難な問題を解決するのに、この知識は役に立ちますが、体験はもっと重要な意味を持つと思うのです。この体験は「心」に余裕を持たせてくれます。まさに日本の文化はこの「心」に余裕を持たせてくれると私は常々考えています。私は若い頃から柳生新陰流を学んでき今も研究を続けています。



この柳生新陰流を学ぶきっかけは、約40年前、当時26才くらいの頃、何か自分に言葉では表現出来ない違和感が毎日あったのです。色々勉強をしても何かしらしっくりと納得がいかない。そんな或る日、本屋で週刊誌を立ち読みしていた時、一頁全体に亘って、ある和尚の写真が載っていました。その和尚の迫力ある何とも言えない顔にハッと成って、魅せられてしまいました。この和尚は奈良県の柳生の里にある柳生新陰流を創設した柳生家の菩提寺の和

尚でした。早速尋ねて行きましたが、和尚はなかなか会ってくれません。何回か尋ねて行くうちにやっと会ってくれました。お会いすると和尚は迫力があり、何と格好がいいのだらうと思いました。こういう自信に満ちている感じは何処からくるのかと思いました。この和尚は柳生新陰流の技はされなかったのですが、新陰流の理論、考え方ひいては日本の心について私にたびたびお話をしてくれました。私は柳生新陰流を学びたいと申し出たら、柳生新陰流の達人を紹介してくださり、練習を開始することになったのです。この師範も剣道の姿は抜群に美しいのです。日本の伝統のある文化は洗練された美しさがあり、その姿が心を洗練していくのだと感じます。



冒頭に言いました様に、今日から色々な分科会が開催されます。いずれも伝統ある日本の文化でありまして、その中に、何か言い知れない魅力を秘めています。こういったもののうち何か一つでも練磨して、その文化と心を学ぶ事は人生に意義を与えてくれるものと思います。この分科会がそのきっかけとなる事を念願しております。



剣道(日本の文化を含む)を学ぶ方法に、「守」「破」「離」と言って3段階の修業が有ります。第1段階目の「守」は、師の考え方や、柳生新陰流独自の考え方、そして型、技をまずしっかり確実に身につけます。これを数年かけて行うのです。一通り出来る様になってきたら次に2段階目の「破」に入ります。これは他の剣術の師や、他流の良い点を学び、これを取入れて更に自分を発展させるのです。これを終了すると最

後の「離」の段階に入ります。これは一つの流派から離れて自分独自の新しいものを創設する事です。この様な練習方法は全ての事に通じると思うのです。柳生新陰流では刀の使い方が巧みだという事は必ずしも剣匠として十分な資格にはなり得ないのです。柳生新陰流ではまず最初に礼儀作法を練習し、それを通して練習に備えての心を作ります。そして勢法という型を学びます。これは文字通り勢と姿の美しさをその技を通じて作って行きます。次に実際の切り合いの型を幾通りも、そしてそれを何回も繰り返し練習します。実用的な目的は人を切る事です。品格節度を作るという道徳的、精神的な目的が実用以上にあるのです。結局柳生新陰流の到達とする所は「無刀取り」の心境になる事です。これは即ち戦わずして勝つという事と同じ意味を持ちます。又柳生新陰流では何事も事の善し悪しを決めないのです。善し悪しを決めると次の善し悪しを決めねばならなくなります。永遠に続く訳です。これでは物事の異変に臨機応変に対処出来なくなります。一つの事に執着する事を嫌います。こんな練習を積んでいくと「とっておき」が手に入り、眼前に開かれているものをじかに感じ取り、じかに見る力が出来てくると教えるのであります。(勿論私は未だ出来ませんが) その様な『とっておき』が有るのだと思うだけでも、更に努力を続ける事が出来ます。



やはり日本文化というものは、我々にその時にその場に於いて、常に変化していく新しい感覚を身につけさせてくれるものだと思うのであります。

'08  
Spring

# RYLA PHOTO REPORT



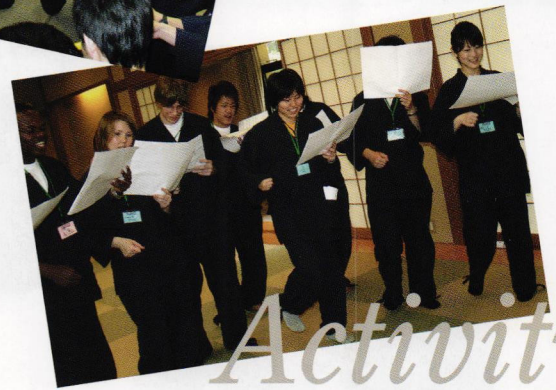
## Ceremony



## Zen



2008 春のRYLA  
 「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう」  
 主催 国際ロータリー第2660地区青少年活動委員会 ホストクラブ大塚中之島ロータリークラブ



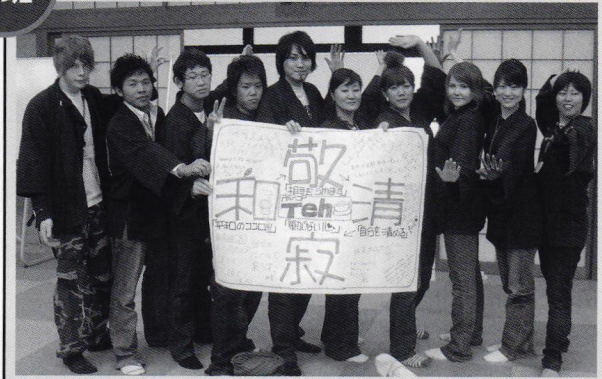
*Activity*





1班

Team Teh



部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
和 讃	フレドリック・アンダーソン 山崎 紀幸 戸高 誠二 佐藤 卓哉 ジャルフリ・ツルキ・アフマド ユスリザル	東大阪東 吹田西 大阪中之島 新大阪 大阪中之島 大阪中之島
来 迎	西川 知里 野田 真央 木下 奈緒 高岡 真子 マルヤ・ジュネル	新大阪 大阪中之島 大阪中之島 大阪 大阪本町
ロータリーパバ	杉村 雅之	

2班

Team 一期一会



部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
誕 生	上門 英史 大中 啓史 アレクサンダー・リンドパーク 古川 健二 アテト・エリック・オモンディ 石橋 広楠	大阪 大阪中之島 大阪イブニング 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪御堂筋
報 恩	矢後 千紘 田代 こすえ 藤原 麻里 高田 麻未 ショウ・チュウカ	吹田 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島
ロータリーパバ	高島 凱夫、中道 正伸	

3班

Team TIGA

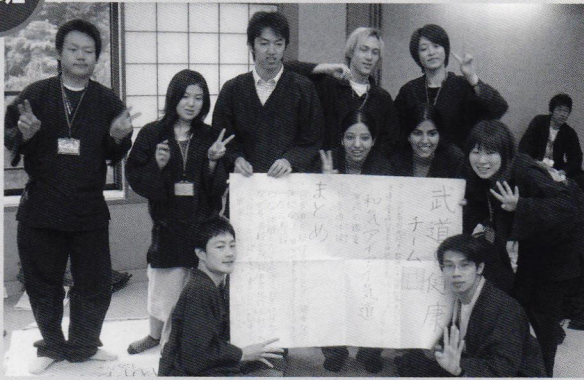


部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
妙 遍	好川 勝 小川 孝文 中村 由彦 アーロン・ワイズ ヨ・サンス	大阪大手前 大阪中之島 大阪中之島 大阪天満橋 大阪中之島
七 福	稲田 真実 岡本 実穂 守屋 由貴 識名 理恵 ウィーイースー サマンサ・アンダーソン	八尾 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪天王寺
ロータリーパバ	安達 昌弘	



4班

Team 四畳半



部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
遍 照	タン・ルディ 中司 光紀 小野田 祐太 稲田 和馬 ヨエル・アミス	大阪御堂筋 吹田江坂 大阪中之島 八尾 大阪中之島
三 味	渡邊 圭 森川 里美 神納 愛子 マンチャング・サリカ マンチャング・プリティ	大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島
ロータリーパパ	小林 俊明	

5班

Team RICE



部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
妙 音	コウ・カイン シム・アレックサンダー 松山 嶺志 河野 拓真 アルミヤファイサルマンズール	大阪御堂筋 大阪東淀 大阪中之島 守口 大阪中之島
札 打	河合 まり子 サンドラ・ヨッホンハイム 神門 ゆか 福岡 恵 熨斗 華衣	大阪平野 大阪天満橋 大阪中之島 大阪中之島 大阪東梅田
ロータリーパパ	北村 哲夫	

6班

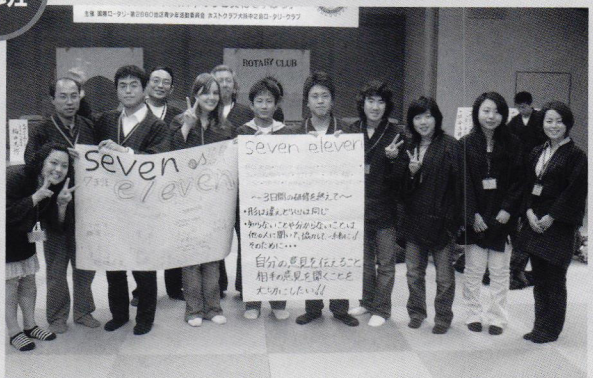
Team マイペース



部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
玉 藻	岸田 和也 レフブル・パケジュリアン 辻 大輔 森本 秀樹 チョウ・ケンヒ	吹田西 大阪咲洲 大阪中之島 大阪南 大阪中之島
影 向	音川 さくら 河野 萌実 ウ・スンジョン オウリン	新大阪 大阪中之島 大阪中之島 大阪御堂筋
ロータリーパパ	針谷 紘一	

7班

Team seven eleven



部屋名	受講生氏名	推薦クラブ
梵 音	升谷 光佑 中村 圭一 アルエネジアルフマイディサウド バリユウ ナクマハクン・パバット 浅井 秀星	吹田西 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪中之島 大阪大手前
瑜 伽	牧野 典子 ケイトリン・ポルグドルフ 大西 麻容 田畑 麻里江 ジョ・レイレイ	大阪御堂筋 大阪心斎橋 吹田江坂 大阪中之島 大阪中之島
ロータリーパパ	西田 末彦、村橋 義晃	

'08  
Spring

# RYLA PHOTO REPORT

## 剣道

講師: 泉紀 世史  
瀬川 美澄  
村橋 義晃



## 箏

講師: 権野 歳子



## 琵琶

講師: 片山 旭星

## 尺八

講師: 三好 莞山



# 空手

講師:山本 浩



# 詩吟

講師:氷見 創春



# 合気道

講師:山野上 浩二



# 茶道

講師:三好 えり子



*Traditional culture*

## ■ 卓話

再発見  
日本の文化と美

講師：  
京都大学名誉教授、  
京都ロータリークラブ会員  
本庄 巖

それまで欧米発信の医学しか知らなかった私は、大学退官後、武者小路千家でお茶を学び、また禅道場に入門したお蔭で、日本の文化や美を再発見することができた。今日の私の話が皆様の日本文化再発見のきっかけになればと思っている。



日本独自の文化のうち、千利休によって大成された茶道についてお話ししたい。利休居士は、茶頭として秀吉と対等に渡り合った人物で、最後には切腹にいたることは良く知られている。以後利休の子孫は三千家に分かれ、現代に到るまでその伝統が伝えられている。

実は数年前、英国の貴族の館で日本のお茶と英国の紅茶のコラボレーションというイベントに参加し、お茶がいかに日本独自のものであるかを実感させられた。

午前中、私たちは貴族の館の庭園で、日本のお茶をアール・グレイ伯爵以下英国の人たちに差し上げた。午後にはお返しに、アフタヌーン・ティのおもてなしを大広間で受けた。

しかし、スコーンやサンドイッチに添えて出される紅茶は、あくまで客人をもてなすくつろぎの場であり、日

本のティ・セレモニーのような精神性はなく、日本の茶道とは大きく異なると感じた。以下に本式のお茶を、私が稽古に通っている武者小路千家の官休庵でご説明したい。



茶室に入る前には編笠門をくぐって青苔の中を茶室へと進む。この時、私たちは世俗をはなれ特別な空間へ入ってゆく心構えをする。身が一つ入るだけの茶室のにじり口では、秀吉すらも刀の大小をとって跪いて茶室に入らねばならない。極限の茶室といえる官休庵は、客人の畳は一畳のみで、湯を沸かす炉は畳に切られ、お茶碗や茶杓も畳の上に置かれる。

官休庵では大切にされている「木守」と名づけられた赤楽の茶碗は、赤土の色だけの何の変哲もない茶碗であるが、日本の侘びさびの心を象徴する茶碗といえる。しかしお茶の本当の楽しみはお茶事にある。初めに懐石が出され、亭主自らのもてなしで食事と、お預け徳利や盃で主客ともになごやかな時間を過ごす。



次に日本における宗教、あるいは日本人の死生観

についてお話いたしたい。

私は数年間禅道場に通ったお蔭で、それまで全く不案内であった仏教に少し目を開くことができた。私たち日本人は無宗教といわれることが多いが、本当にそうなのだろうか。

そこで西欧と、わが国での神様の居場所について考えてみたい。



パリのノートルダム寺院や、フィレンツェの花の大聖堂、あるいはローマのサンピエトロ寺院、いずれも街の中心地であって、堅牢な石造りの壁で外界から厳しく遮断されている。

一方我が家の近くの下鴨神社は、鬱蒼とした木々の「糺の森」の中にある。伊勢神宮も人里はなれた所であって、西行法師が「なにごとのおわしますかはしらねども かたじけなさに涙こぼるる」と詠んだように、深い木立に囲まれた神域が神を感じさせる。熊野の那智の瀧では、垂直に落ちる瀧そのものがご神体である。

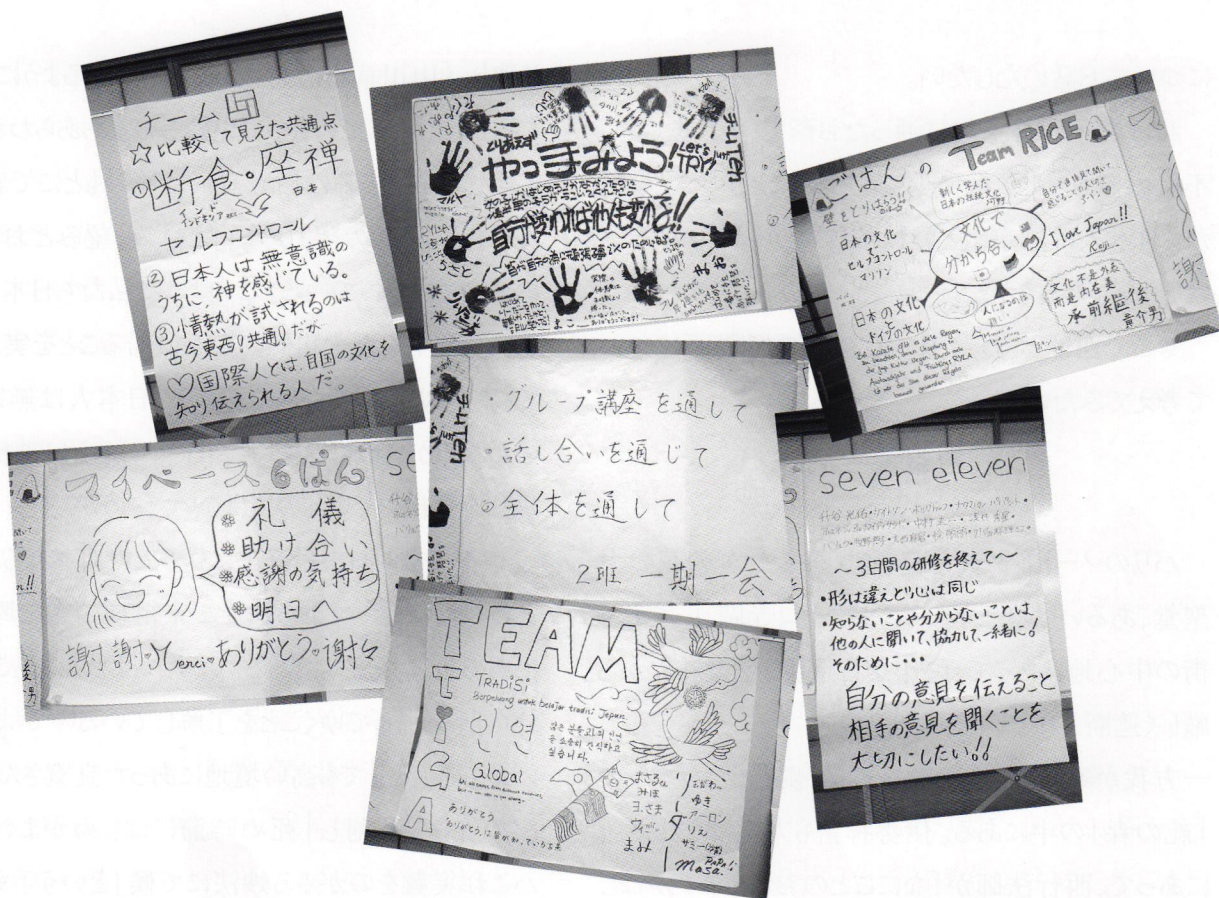
このように私たち日本人は、自然の中にこそ神を感

じ取り、「山川草木悉皆成仏」といわれるように、自分を取り巻くすべてのものにいのちのたちあわれを観てきた。西行法師は「ねがわくば花のもとにて春死なんそのきさらぎの望月の頃」と詠み、望みどおりに桜の中で亡くなっている。このように私たち日本人は、私たちを生んだ大自然のなかに帰ることを実感として持っているのではあるまいか。日本人は無宗教といわれるが、自然に恵まれた日本で随所に神様の居場所を見出しているのではないだろうか。

京都では8月16日、五山に送り火が灯される。お盆でこの世に帰っておられたご先祖様の霊を煙とともにあの世に送る火である。いずれは私たちもご先祖様の所へ帰ってゆくことを了解しているのではあるまいか。禅者としても高い境地にあった良寛さんは、災害の知らせに対し「死ぬ時節にはしぬがよく候、是ハこれ災難をのがるる妙法にて候」という手紙を書いている。現代の西洋医学では死を敗北と考え、さまざまな延命措置が行われているが、人の本当の幸せとは家族に囲まれた安らかな死ではあるまいか。そろそろ日本人の死生感に根ざした終末医療を考える時節がきているのではあるまいか。



# グループ討論会 成果発表



## 1班

(11名) チーム名: Teh

フレドリック・アンダーソン	西川 知里
山崎 紀幸	野田 真央
戸高 誠二	木下 奈緒
佐藤 卓哉	高岡 真子
ジャルワリ・ツルキ・アフマド	マルヤ・ジュネル
ユスリザル	

ロータリーパパ: 杉村 雅之

◆難しく考えるのをやめて、まず行動しようというのが3日間の私たちのキーワードです。「せへの、とりえずやってみよう」。拍手お願いします(拍手)では、メンバーよりやってみたことを……。

◆イスラム教だから豚肉は食べられないので、鍋を食べる時、皆に伝えました。リさんも、山ちゃんも豚肉を食べられないとわかって、豚肉を食べられる人が鍋を二つに分けてくれました。「とりえず自分から伝えて」みたことで、皆と分かち合うことができました。

◆私は「とりえず協力した」ことについて話します。例えばサプリーダーを決める時も誰も話さないし、バラバラなチームだったんですけども、その後のレクリエーションで協力しあい、お互い信頼感が生まれ、チームとしての協力を実感することが出来ました。

◆パフォーマンスナイトではなかなか決まらず苦戦。でも逆にみんなが「やってみよう→楽しもう」と吹っ切れて、あのようなパフォーマンスが出来るようになりました。「とりえず自分たちが楽しむ」ことによって周りも楽しむことが出来ることを学びました。

◆うちの班のいいところ、ちゃんと全員が喋って全員が違う意見を言うんです、すばらしいな。一番感動したことがご飯の時に、女子が御飯をよそのを続けていくうちに、男子が勝手に先に行って配ってくれるようになったこと、女の子がヤレヤレ言ったわけじゃなく、お互い思いやる心で自分からやることで、分かち合えたんじゃないかなど。自分が変われば他人もかわるというのが1班が3日間を通して学んだことでした。ありがとうございました。



**2班** (11名) チーム名：一期一会

上門 英史	矢後 千紘
大中 啓史	田代 こすえ
アレクサンダー・リンドバーク	藤原 麻里
古川 健二	高田 麻未
アト・エリック・オモンディ	ショウ・チュウカ
石橋広楠	

ロータリーパパ：高島 凱夫、中道 正伸

◆2班のリーダー、石橋です。それでは、気をつけ、礼。では各メンバーに発表していただきたいと思います。お願いします。

◆大中と申します。グループ講座では、一つの道を極められた人の、一つの道以外にも持つ品格、人格のよさ、それらが素晴らしい輝きを放っている姿をみせていただき、感動しました。和の心とはブレない自己を持ち、楽しむ余裕をつくることだと学び、この経験を通して、一つのことを信念をもってやり続け、ゆるぎない自信とし、他の人に対しても輝きを放てる人間になっていきたいと思いました。

◆「話し合い」についてお話をさせていただきます、高田と申します。グループの中国から来たショウちゃんに「日本人はお互いの文化を学ぶために協力しあう」ということを教えてもらいました。コミュニケーションに不安だったショウちゃんに、日本人の方が優しく話かけてくれた、そういった気遣いが日本の文化の一つだったのです。話をじっくり、積極的に聞くことが意見を促す、と分かりました。

◆全体について発表します。日本の文化とともに他の国の言葉、文化に興味を持つことができ、いろんな国のことも理解し、お互いに尊重し、認め合うことが出来ました。宗教や国とか関係なく、写経の先生がおっしゃっていたように、自分の神様に感謝することが大事だと分かりました。2泊3日の日本文化体験の中で、僕にとっては正座が辛かったのですが、辛い事をガマンしながら続けることは、忍耐力を養うことになったと思う。これからの生活にも、仕事にも勉強にも役立つんじゃないかと思いました。



**3班** (11名) チーム名：TIGA

好川 勝	稲田 真実
小川 孝文	岡本 実穂
中村 由彦	守屋 由貴
アーロン・ワイズ	識名 理恵
ヨ・サンス	ウィーイーサー
	サマンサ・アンダーソン

ロータリーパパ：安達 昌弘

◆私たちのグループは4つの国の人たちで構成されています。まず、日本人、マレーシア人、韓国人、アメリカ人です。この成果発表では私たちのチーム名TIGAというのを使って、また4つの国の言葉で、ライラで学んだことを紹介します。まず……、

◇「TIGAのT」(全員)。

◆Tは楽しい。～マレー語～様々な日本伝統を学ぶことです。

◇「TIGAのI」(全員)。

◆～韓国語～Iを日本語に訳すと縁という言葉です。ここに来て、たくさんの皆さんとお会いしたんですが、色々な経験をして学んだことは縁の大切さだと思います。皆さんと別れないといけないのは寂しい気持ちでいっぱいになります。いつまでも忘れずにいようと思います。

◇「TIGAのG」(全員)。

◆～英語～私たちは様々な国から来ています。けど、皆とても仲良くなれました。

◇「TIGAのA」(全員)。

◆ありがとう。ありがとうは皆が知っている言葉です。私たちはこれからのロータリークラブの益々のご発展、ご繁栄また参加者の健康と幸せのため鶴を書きました。このライラでたくさんの事を学び、たくさんの友人ができました。そうすることができたのもロータリークラブの方々やその他、参加者のおかげです。この3日間ありがとうございました。

## グループ討論会 成果発表



### 4班

(10名) チーム名：四畳半

タン・ルディ	渡邊 圭
中司 光紀	森川 里美
小野田 祐太	神納 愛子
稲田 和馬	マンチャング・サリカ
ヨエル・アミス	マンチャング・プリティ

ロータリーパパ：小林 俊明

◆チーム4畳半のリーダー、小野田です。よろしくお願いします。私たちは比較して見えた共通点をサブテーマに加えました。

◆まず断食と座禅を比較しました。今日、インドから来た、サリカとプリティは断食をしています。食べずにガマンするなんてすごいのですが、その裏にはセルフコントロールをするという意味が隠されています。座禅もそうですね？動きたいけど動けない、喋りたいけど喋れない。セルフコントロールという共通点を発見しました。

◆逆に私たち外国人から見ると、日本人は無意識のうちに神を感じている。本庄先生も言われたように、宗教とかあまり意識していないようで実はすごい意識している。語るのではなくて心で表します。例えば掃除。他の国では掃除の意味はただの掃除ですが、仏教に基づくと自分の心を清らかにする事です。その教えを無意識に当たり前にするというのはすごいと感動しました。

◆情熱が試されるのは古今東西共通という事です。泉先生の話を聞き、それぞれの道の先生方の教えに実際に触れることで、一つの道を極めることの厳しさを実感できました。しかし、今の日本は情報化が進み、大切な事を学ぶ時間や自分で考える事が置き去りにされつつあるのではないのでしょうか。

◆スウェーデン人とインド人とインドネシア人と日本人で各国の文化について話し合いました。長い時をかけ知識や教えを精練して伝えた文化っていうものは、やっぱり大切にしなければいけなくて、特に内面的なモノこそが重要なのではないかと皆で考えました。



### 5班

(10名) チーム名：RICE

コウ・カイン	河合 まり子
シム・アレックサンダー	サンドラ・ヨッホンハイム
松山 嶺志	神門 ゆか
河野 拓真	福岡 恵
アルミヤファイサルマンスール	熨斗 華衣

ロータリーパパ：北村 哲夫

◆座禅だけじゃなくて、茶道・琵琶・尺八も、共通していると思ったことは、自己を調整するセルフコントロールです。自分に集中する間が絶対あると思ったんです。それぞれの本質というのは自分を調節することであって、お茶をうまく入れたり琵琶・尺八をうまく奏でるとするのは、結果としてでてくるものじゃないのかなと思いました。

◆私はドイツで空手をした事がありました。空手にいろんなルールがあります。ドイツではルールの意味が分からなくて、道場に入るときも出るときも、ちゃんと合掌するとか良く忘れてた。日本にきて色々な経験ができて、ルールの元にあった文化がどういうものなのか分かってきました。今回それが分かってすごいです。

◆国や年齢が全く違う人と触れ合うことで得たものがたくさんありました。このライラでは、例えば先輩・後輩の壁や上司・部下の壁を感じずに一つのテーマを対等に話し合え、視野が広がったと思います。もう一つ、文化・宗教とか全く皆違うんですけど、分かち合うためにはまず知る必要があるなと思いました。時間をかけてでも、自分で体験して知ることから皆が理解が出来たらと思いました。

◆このチームはね、素晴らしいです。例えば「リーダー書きなさい」と言われて「はいはい」(笑) 僕がじゃなく、皆がリーダーなんです。今回の参加で、自分の生きていく道にある程度目標が見え、いい体験をさせていただきました。この中にはこれから大学生になったり、社会に出て働く人もいますが、ここで学んだ事を私生活でも活かし、世の中に役立つリーダーになってほしいなと思います。





**6班** (9名) チーム名：マイペース

岸田 和也	音川 さくら
レフブル・パケジュリアン	河野 萌実
辻 大輔	ウ・スンジョン
森本 秀樹	オウ・リン
チョウ・ケンヒ	

ロータリーパパ：針谷 紘一

◆今日の発表はありがとうというテーマです。日本の文化を体験させていただいて、それぞれに会得したことがあります。時間の都合もあり、代表の4人で簡単に発表していきます。

◆まず礼儀について。茶道とか剣道とか空手とか経験させてもらいましたが、気遣いとか感謝の気持ちを持って行動するという礼儀。そして作法というもの。そういうものが日本の文化の中でとても重要なのではないかと感じることができました。

◆私は国籍について。グループ講座やパフォーマンスナイトの出し物の話し合いの中で、最初はみんな国籍が違うので遠慮して意見を出し合う事ができなかったんですが、時間とともに打ち解けあえるようになり、最終的には意見を出し合って助け合いながら、ここまで発表することができるようになりました。とても達成感を感じ、よかったですと思います。

◆助け合うことを通して、本当にありがとうという気持ちを持って接しあうことが出来ました。このありがとうという気持ちは万国共通であり、また今日のテーマである日本の心と文化の土台になっているものだと思います。今後の生活においても、日常の小さなことに対してもありがとうという気持ちを大切にもっていきたいです。

◆3日間のライラ生活もあっというまに終わりました。テーマの分かち合おうなんですけど、相手と分かち合うのはなかなか難しいことだと思います。せめて、このライラセを通じて、分かちあおうという気持ちを覚えて帰れたらと思います。



**7班** (11名) チーム名：seven eleven

升谷 光佑	牧野 典子
中村 圭一	ケイトリン・ボルグドルフ
アルエネジアルフマイテイサウド	大西 麻容
バリユウ	田畑 麻里江
ナクマハクン・パパット	除 雨雨
浅井 秀星	

ロータリーパパ：西田 末彦、村橋 義晃

◆みなさんよろしくお願ひします。実際どう思ったのか、どう感じたか、結果としてどういう答えを出したかここにまとめて書きました。

まず、1点目がカタチは違えど心は同じという事です。日本文化、芸能を体験して日本の心、礼儀に触れることができ、各国の文化と違う点を感じましたが、同時に共通点も見つけました。例えばカナダのケイトリンさんが言ってくれた事なんですけど、カナダではスターバックスで、日本では茶室でお茶を楽しむ。スターバックスでは皆でおしゃべりしながらというのがスタンダードな方法だそうです。日本は礼儀、厳しさといったものがあるんですが、お客様をもてなすことで喜んでもらう、それが最終的に自分の喜びになる。つまり仲間を大切に、仲間づきあいを楽しむということが共通します。

そして2つ目。知らないことや分からないことは、他の人に聞いて協力して一緒にという事。分かち合うということはいわゆる相互理解ということなんですけど、異文化を学ぶ際に大変重要なものとなってきます。やみくもにコミュニティに加わるだけじゃなくて、そうしていると疑問が必然的に出てきます。しかしながら、分からないことを知ってそうの人に聞くと、これをお互いにやっていたら、お互い自分の気持ちも分かってもらえる。これはまさしく一番のテーマであり、分かち合いの原点だと思いました。ということで結論のほうにいきます。

自分の意見を伝えること、相手の意見を聞くことを大切にしたい。これを結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

## ■ 閉講式

### 閉 講 式 式 次 第

---

司会:佐野 唯博

- 開会点鐘 ..... 大阪中之島ロータリークラブ会長 泉 紀世史
- 挨拶と修了証書授与 ..... RI第2660地区ガバナーエレクト 横山 守雄
- 講評 ..... RI第2660地区青少年活動委員会委員長 西上 博幸
- RYLA旗の引継ぎ ..... 大阪なにわロータリークラブ会長 北澤 高志
- 閉会の辞 ..... 大阪中之島ロータリークラブRYLA実行委員長 福田 忠博
- ロータリーソング「手に手つないで」 ..... ソングリーダー 志水 慶一
- 閉会点鐘 ..... 大阪中之島ロータリークラブ会長 泉 紀世史

#### ロータリーソング『手に手つないで』

---

手に手つないで つくる友の輪 輪に輪つないで つくる友垣  
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ 一つ心に  
お、 ロータリアン お、 ロータリアン

手に手つないで つくる友の輪 輪に輪つないで つくる友垣  
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ 世界と共に  
お、 ロータリアン お、 ロータリアン

## 挨拶と修了証書授与

R.I.第2660地区ガバナーエレクト  
横山 守雄



皆さん今日は、この7月から大阪地区・ロータリーのガバナー職を担当いたします横山です。

ライラ受講者の青少年諸君は、勝尾寺へ最初の到着された際には、知らぬ仲間や緊張感から、早く終わって家に帰りたいなと思われたかもしれませんが、先ほどから皆さんの活動報告をずっと聞いておりますと、この3日間を通じてたくさんの仲間出来て、ライラのいろいろなプログラムを十分に楽しめたのだなということがよく分かりました。三日間と云う短い期間ではありましたが、皆様はこのライラを通じて、日本の伝統的な文化を学ばれ、そして分かちあいの心、社会生活上で大事な和の心を学ばれました。このライラから得られた経験というものは皆様のこれからの学業や社会生活においてどこかで役立つものと思います。

私どもロータリアンは若人の皆様がやがて一人前の職業人になられた暁には、今回皆様をサポートいたしましたロータリアンのように、それぞれの地域社会に於いて、また国際社会に於いて、人々のお役に立てるような社会的リーダーに成長していただきたいと願って、このライラというプログラムを世界中の国々で実施しているのであります。また同時に、これからの時代を担っていただく青少年諸君が、将来いろい

ろな方面でそれぞれの力を存分に発揮されまして大いに活躍されることを私達ロータリアンは心から願っている次第です。

今回のライラを長い時間をかけてご準備くださいました大阪中之島RCの泉会長さん、福田実行委員長さん始めクラブ会員の皆様、そして今回の春のライラをご指導下さいました地区青少年活動委員会の西上委員長と委員の皆様、RACの皆様、誠にご苦勞様でございました。そしてまた、この素晴らしい環境の場所をご提供下さいました勝尾寺ご住職の皆様には、いろいろとご協力頂きまして感謝申し上げます。

今回のライラが関係者各位のご尽力によりまして、無事成功裏に終了し私自身も大変うれしく思っている次第です。改めて皆様のご奉仕に敬意と謝意を表しまして私の挨拶とさせていただきます。

## 講 評

R.I.第2660地区青少年活動委員会委員長  
西上 博幸



2007-2008年度春のライラが、「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう」のテーマで、福田実行委員長はじめ大阪中之島ロータリークラブの皆様のご尽力を持ちまして、今ここに無事終了しました。ありがとうございました。大自然の緑に包まれた中、またお寺にて、多くの留学生を交えて、国際交流、文化交流を通じての和やかなすばらしい春のライラでございました。

こうして皆様方の顔を拝見しますと、一日目と今とでは、顔の表情が随分と違います。充実され、表情が柔らかく非常に良い顔をされています。いつも思うことは、閉講式のほうが好きでございます。このようにすばらしい笑顔がみられるからです。今年も安心してました。

研修を振り返って見ますと、一日目は、基調講演に、ホストクラブの泉紀世史会長より「万人を活かす日本



の文化」と題して、「守、破、離」について貴重なお話を頂きました。

二日目は、朝から座禅や写経を受けられ、日常生活では味わえない心の落ち着きを体験していただきました。日本の良き文化である箏、詩吟、茶道、尺八、武道等グループ講座を通じて、作法や日本の心の一端を実体験していただきました。

パフォーマンスナイトでは、各班のすばらしいチームワークを見せていただきました。

三日目は、本庄 巖様は医者という職業以外に、趣味でお茶・禅・焼き物に取り組んで居られ、その中で、日本の文化と美を再発見されたことのすばらしいお話を頂きました。

最後には、皆さんがこの3日間で学んだこと・体験したことを発表していただきました。

発表を聞いていますと、分かちあいの心をつかんでいただけたと感じました。また、リーダーになるために必要なことや、仲間を作る方法も自然と学ばれました。ここでは、自分の考えを正しく相手に伝えることから始まり、コミュニケーションを図るには自分の心が開いていないと図れないことも学ばれました。そして、グループ行動は、チームワークを知るための研修であり、同時にリーダーシップを養成する研修であることも学ばれました。

ここでの研修を通じ、人に尽くされる喜びより、人に尽くす喜びの意義を感じられたと思います。また、自分の将来を切り開くのは自分自身であり、未来の自分に会える、夢に描いた自分になれるかどうか、それは自分自身の努力、責任にあることも自覚されたことでしょう。

今年10月に秋のライラを実施します。次は上級ライラにチャレンジしてください。そして上級ライラを終了



されますと、チームライラのメンバーとして参加できます。皆さんのお世話をしていただいた方々は、チームライラの皆様です。今度はあなた方が次の青少年たちを導いて下さい。また、今すぐ仲間が欲しいと思っている方は、ローターアクトに入会されることをお勧めします。友好の心を持ってお待ちしております。

最後になりましたが、このすばらしい春のライラをご指導していただきました大阪府青少年活動財団の皆様、従来のライラと違った趣向で企画頂き、勇気ある決断のもと実施いただきました泉会長、福田実行委員長、をはじめ大阪中之島ロータークラブの皆様、そして、チームライラの諸君本当にありがとうございました。お疲れ様でした。心より感謝申し上げます。また、このすばらしい施設をご提供いただきました勝尾寺様ありがとうございました。

## R Y L A 旗 の 引 継 ぎ

大阪なにわロータリークラブ会長  
北澤 高志

この度、国際ロータリー2660地区、2008年秋のライラのホストクラブに仰せつかりまして、大変重大な責任を痛感しているところでございます。私達のクラブはライラのホストは初めてでございますので、何事をして良いのか本当に何も分かりません。しかしながら、地区青少年活動委員長の西上様をはじめ、次年度委員長の井上様、また、直前委員長の泉様の熱心な要請及び、ご支援によりましてお受けすることになりました。早速実行委員会を立ち上げ、餅野会員を



地区委員に推薦しライラ実行委員長をお願いし、着々とホストクラブとして秋のライラに向けて準備万端進行中でございます。どうか春のライラ同様、多数ご参加いただき無事成功させたいと思いますので、何卒、ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。今回、中之島ロータリークラブの皆様は大変だったと思いますが、私達もこれから色々ご指導いただき、秋のライラを頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくようお願い申し上げます。

## ローターアクト地区代表挨拶

大阪梅田RAC会員  
伊勢森 慶子

07～08年度ローターアクト地区代表、大阪梅田RAC  
伊勢森慶子会員からご挨拶がありました。



## 閉会の辞

大阪中之島ロータリークラブRYLA実行委員長  
福田 忠博

ライラの3日間、今皆さんとともに無事終了したことを  
喜ばたいと思います。

友人を作りながら、より良い人間関係の構築という問  
題について討議し、指導力と伝達力を磨き、社会及  
び事業の制度を学び、ロータリアンと知り合う機会を  
青少年に提供することがこのライラの目的でありました。  
そのために、日本の心と文化に精通した多数の講師に、  
実践を似って皆さんに日本の心を伝えました。先の  
その成果の発表時に皆さんは色々の意見や、感想  
を話してくれました。

そこで皆さんへのお願いですが、3日間のうちに学習



して皆さんの感じ取った日本の心と文化を今日から  
皆さんの生活と活動に活かすように努力して、今後  
の糧として大事にしていきたいと思っています。

最後に地区の新谷ガバナー、横山エレクトをはじめ  
辻本ローターアクト委員長、西上青少年活動委員長  
の御指導、御助言を得て、特に西上委員長には我  
がクラブがライラのホストクラブに決定した時点から、  
何も分からない我々を直接御指導をいただきました。  
さらには2660地区の全員のロータリアンのご協力に  
よりここに無事に終了しましたことを、心から感謝しな  
がら、閉会を宣言します。



## クラブ別登録一覧表

クラブ名	ロータリアン	青少年	登録数
大東	1		1
大東中央	2		2
東大阪	3		3
東大阪中央	2		2
東大阪東	2	1	3
東大阪みどり	3		3
東大阪西	3		3
枚方	1		1
茨木	4		4
茨木東	2		2
茨木西	3		3
池田	1		1
池田くれは	10		10
門真	2		2
交野	3		3
香里園	3		3
くずは	3		3
箕面	5		5
箕面中央	3		3
守口	3	1	4
守口イブニング	3		3
寝屋川	3		3
大阪	5	2	7
大阪阿倍野	2		2
大阪ちゃやまち	1		1
大阪中央	7		7
大阪堂島	2		2
大阪フレンド	3		3
大阪阪南	3		3
大阪東	6		6
大阪東淀	2	1	3
大阪平野	3	1	4
大阪本町	2	1	3
大阪イブニング	1	1	2
大阪城南	1		1
大阪城東	3		3
大阪柏原	2		2
大阪北	2		2
大阪北梅田	36		36
大阪御堂筋	1	5	6
大阪南	2	1	3
大阪難波	1		1
大阪なにわ	40		40
大阪南西	30		30

クラブ名	ロータリアン	青少年	登録数
大阪西	3		3
大阪大手前	8	2	10
大阪大淀	3		3
大阪リバーサイド	2		2
大阪咲洲	1	1	2
大阪西北	3		3
大阪西南	2		2
大阪船場	2		2
大阪心斎橋	2	1	3
大阪城北	1		1
大阪そねぎき	12		12
大阪住之江	2		2
大阪住吉	4		4
大阪天満橋	13	2	15
大阪天王寺	2	1	3
大阪東南	3		3
大阪鶴見	5		5
大阪梅田	10		10
大阪梅田東	33	1	34
大阪うつぼ	3		3
大阪淀川	5		5
大阪ユニバーサル	1		1
千里	3		3
千里メイプル	3		3
摂津	1		1
四条畷	3		3
新大阪	1	3	4
吹田	2	1	3
吹田江坂	5	2	7
吹田西	1	3	4
高槻	3		3
高槻東	2		2
高槻西	4		4
豊中	3		3
豊中南	2		2
豊中・大阪国際空港			0
豊中千里	4		4
八尾		2	2
八尾中央	3		3
八尾東	3		3
大阪中之島	38	42	80
合計	421	75	496
※チームライラ		7	



## 収支決算報告書

## 収入の部

収入	金額(円)	摘要
地区助成金	2,500,000	
登録料	3,126,000	
	2,526,000	ロータリアン @6,000円×421人
	600,000	青少年 @8,000円×75人
雑収入	33,701	
	321	普通預金利息
	33,380	会議費残金寄付
収入合計	5,659,701	

## 支出の部

支出	金額(円)	摘要
事業費	4,409,586	
	2,345,614	勝尾寺・ホール使用料
	94,800	看板設置工事
	72,000	講師出演料等
	643,495	作務衣
	253,032	飲物・食材等
	40,645	事前打合せ会議費
	200,000	プログラム指導料
	200,000	国際ライラ活動補助金
	250,000	報告書制作
	100,000	チャリティライブ協賛金
	100,000	チームライラ活動費
	110,000	記録費
交通費	327,720	
	94,500	送迎バス
	13,220	タクシー
	220,000	来賓お車代
渉外費	229,500	
	229,500	他クラブ訪問PR活動
印刷費	500,000	
	500,000	チラシ、ハンドブック印刷 ・ Tシャツ、作衣デザイン制作
事務用品費	46,645	
	46,645	文房具
保険料	122,930	
	122,930	傷害保険料
雑費	23,320	
	23,320	振込手数料等
支出合計	5,659,701	

## 大阪中之島ロータリークラブ会員担当分担表

部会		委員会		役割分担	
管理本部	担当部会長	管 理	委員長	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会間の調整</li> <li>・参加者の状況を把握</li> <li>・全体の進行状況把握</li> </ul>
	志水 慶一		北村 譲	泉 紀世史 福田 忠博	
総務部会		総務委員会	小林 俊明	吉井 宏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルバスの手配</li> <li>・スタッフの動向の把握(当日は管理本部)</li> </ul>
		渉外委員会	針谷 紘一		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対外的な問題解決</li> </ul>
		会計委員会	岡本 啓吾	中道 正伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の作成</li> <li>・会計報告作成</li> </ul>
	犬飼 直之	記録委員会	前田 隆司	西田 末彦 安田 睦 梅原 一樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集要項の作成</li> <li>・当日のプログラム(印刷)作成</li> <li>・記録写真の撮影</li> <li>・記録誌の作成</li> </ul>
		プログラム委員会	中道 正伸	村橋 義晃 松本 純一 渡辺 哲秋 斧田 哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの内容作成</li> <li>・分科会の内容作成</li> <li>・分科会の講師アテンド</li> <li>・チームライラ担当</li> </ul>
ロータリーババ部会	高島 凱夫		中道 正伸 安達 昌弘 北村 薫 北村 哲夫	針谷 紘一 小林 俊明 村橋 義晃 杉村 雅之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の相談</li> </ul>
設営・進行部会		設営委員会	堀口 利夫	野崎 慎一 松本 純一 梅原 一樹 安達 昌弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の設営(備品、看板、座席表)</li> <li>・会場への案内看板作成</li> </ul>
		司会進行委員会	吉井 宏 佐野 唯博		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式・閉講式の司会(進行表作成)</li> </ul>
登録・受付部会		受付委員会	谷口 量一	佐野 唯博 杉村 雅之 西田 末彦 犬飼 直之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生、ロータリアンの登録者把握</li> <li>・当日の受付</li> </ul>
	早瀬 道圓	接待委員会	山本 肇	安田 睦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来賓の接待</li> <li>・来賓への案内状作成、送付</li> </ul>
		救護委員会	高島 凱夫	北村 哲夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気、負傷者が出た場合の対応</li> </ul>

## 2008年春のライラ

## 後記

本年度春のライラの三日間は、3日に弱い雨が降りましたが、幸い1日目、2日目ともに好天気恵まれ、無事終了いたしました。

思い返せば、昨年(2007年)1月25日第1回春のライラ実行委員会を開催し、2008年春のライラを成功させるために委員全員の一致団結を誓いました。

そして、5月に開催される2007年春のライラに委員全員が参加し、実際に体験し、ライラとはどのようなことか学習しようということに決定しました。6月からは毎月定期的にライラ実行委員会を開催し、ライラのテーマ、講師の選定、ライラの内容等について討議する中で、テーマについては「分かち合うために、日本の心と文化を学ぼう」ということに決定しましたが、テーマにふさわしい開催地は従前から行われている海洋センターでよいのかという疑問から、京都・奈良・大阪の寺から箕面の勝尾寺を選定しました。

次に講師をどのようにするかということで、有名人でなくとも一芸に秀でて、受講生にとって有用な講話が出来て、かつ講演料が無料であることとすることに決定しました。

まず、我がクラブの会長が、柳生新陰流師範として、長年活動していることから、その経験を活かせる青少年に日本の心について講話をお願いしたところ、決諾を得ました。このような経緯から講師は我がクラブの会員、あるいはロータリアンを含む親しい友人を選ぶことにしました。その結果、幸いにも茶道、琴、空手、尺八、琵琶、詩吟、座禅等に堪能な人達を講師として招聘することが出来ました。テーマ、開催地、講師の決定には多少の困難が伴いましたが、概ねうまく行きました。

しかし、プログラム作成に当たっては、大変な時間と労力を費やすことになりました。講師の人数、課目数が多く、受講時間の配分について、受講生の人数も確定していない段階で決定も出来ず、直前まで変更、また変更が続きました。また、1日目の夕食は屋外でのバーベキューと決定していましたが、手違いから不可能となり、これを初日の人間関係づくりのプログラムとして重視していたので委員会にとって、ショックでありましたが、代わりに室内でのちゃんこ料理(受講生が力を合わせて調理)で当初の目的を達成することが出来ました。

次に受講生とロータリアンの登録については、4月20日頃までは予定数に遠く及ばず大変心配をしていましたが、最終的には受講生75名、ロータリアン421名の登録があり、予定数にほぼ到達いたしました。このことについてはすべてのロータリアンに感謝申し上げます。

最後に、チームライラ、財団法人大阪府青少年活動財団の方々にはプログラム内容の現実について御尽力をいただき心から感謝申し上げます。

またライラのホストとしての役割を全員で果たすことによって我がクラブの団結がより強固になったことは、ライラの成果の一つと考えています。

大阪中之島ロータリークラブ  
2008年春のライラ実行委員会  
委員一同



**大阪中之島ロータリークラブ**

〒534-0026 大阪市都島区網島町9-10 太閤園内  
TEL:(06)6353-2215 FAX:(06)6353-9889